



## My ボランティアサークル交流会（西村山地区）



10月9日（月・祝）に、西村山地区対象のMYボランティアサークル交流会を実施しました。会場は、寒河江市長岡山の予定でしたが、あいにくの天候によりハートフルセンターに変更しました。

西村山地区からは、河北町「ピエロ」より2名、大江町「夢懂布（ポケット）」より1名、山形県青年の家コーディネートボランティアサークル「nicoこえ」より2名が参加しました。

寒河江市総合子どもセンター主催の「小さい秋み～つけたin長岡山」の子ども交流イベントでの実習を通じた交流と情報交換会を行いました。

その様子を紹介します。

### イベントの準備！！



絶妙な隠し方！！

参加する児童のネームを準備。どんな子が来るのかなあ…？

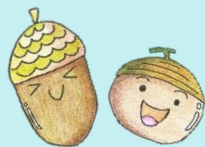
2階フロア全体を範囲とした“宝探し”。どこに隠すかは、ボランティアの皆さんにお任せしました。

### 開会行事&アイスブレイク♪

開会行事では、参加した児童の前で自己紹介をしました。次に、アイスブレイク。後出しジャンケンやからだジャンケン3人対決→4人対決、木とリスなど、様々なレクリエーションを通して、心と体をほぐしました。



# どんぐり工作

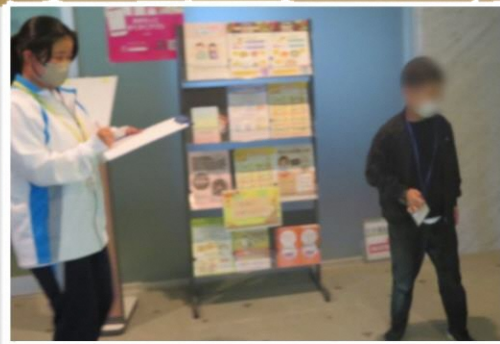


様々な作品が、  
できました。



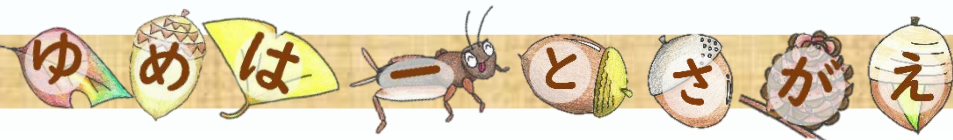
心と体をほぐした後は、みんなで「どんぐり工作」に挑戦しました。目の前にある材料をどう組み合わせ、何を作るか…。悩むかと思ったら、ほとんどの参加者が、思い思いの材料を手に取り、早速組み立てていきました。ボランティアのみなさんは、児童の発想力の高さに驚いていました。

## 宝探し inハートフルセンター



制限時間5分間で、ボランティアが隠した様々な宝物を見つけに向かいました。入ったことのない和室や調理室、通ったことのない奥の廊下など、ちょっとした探検気分を味わっているかのような様子でした。目の前にあるのに、なぜか目に入らない…。その絶妙な隠し方は、若者の感性の賜物でした。

下のキーワードも、様々なところに隠されています。ちなみに、右の写真に隠れているキーワードは見つかりますか？



## 閉会行事 & 抽選会



見つけた宝には、ひそかに点数がつけられており、各班で合計得点を競いました。点数の高い順に、特典付きくじ引きができます。緊張の結果発表…。「第1位は…、〇班！！」発表された瞬間、ガッツポーズが見られました。最終的に、全員くじを引き、お土産をもらい、笑顔があふれていました。

最後は、主催者の寒河江市子どもセンター長須田氏より挨拶を頂戴し、閉会しました。

# MYボランティアサークル情報交換会

現在のボランティアサークルに所属するきっかけや今後取り組んでみたいこと、今、活動していて悩んでいることなど、それぞれ考えていることを話し合いました。



## 【各サークルの活動について】

- ・町で開催された公開収録のスタッフ、町の“いもこ列車”の手伝い
- ・レモネードスタンドや商店街のゴミ拾い
- ・町の公共施設のイルミネーション（デザイン含む）、花火大会後のゴミ拾い、ポップづくり 等

## 【今後やってみたいこと①】

- ・小学生会員との活動もしてみたい。
- ・レモネードスタンドに関心がある。  
→学校のポスター、将来の夢につながっている
- ・高齢者との交流もしてみたい。

## 【今後やってみたいこと②】

- ・独り暮らしの高齢者支援→会話でつながる
- ・“つながりをつくる”ボランティアをしてみたい。

## 【フリートーク】

- ・人数の確保について  
→定期的にしてしまうと、負担感がある。  
→不定期だと行きたい時（行ける時）に行ける。
- ・いろいろなボランティアに参加したい。  
→人手不足の場合、他のボランティア活動にも参加できるようつながりがあるといい。



## ～参加者の声～

- ・小学生の子供たちと一緒に遊ぶことができ良かった。こういう機会がないので体験できて良かった。
- ・普段交流できない小学生と楽しく交流することができた。また、交流する上で目線を合わせることや子供たちの話すスピードに合わせてあげることが大切だということ学んだ。
- ・小学生とかかわる際に必要なことは、表情や話し方、目線だと思った。小学生とかかわるボランティアは初めてだったのでいい経験になった。
- ・子供たちと初めに動くことを通して仲を深められたので、いくつかのレクリエーションとなるゲームを頭に入れておきたいと思った。名前をお互いに付けていたのをうまく使って、次はもっとみんなの名前を呼んでいきたいと思った。
- ・工作では、子供たちは思い描いているものがそれぞれあるので、それにつなげる手段のヒントを与える役に徹するのがポイントだと思った。
- ・小学生の考え方を想像しながらかかわることが大切だと思った。

今回のMYボランティアサークル交流会は、寒河江市総合子どもセンターと連携し、実践交流の場として行いました。各ボランティアサークルでは、自分の地域で、市町主催のイベントのサポートや環境美化、地域活性化など、多岐にわたる活動に取り組んでいました。今回の小学生との交流という実践で学んだこと、他サークルとの交流で得られた情報やつながりなど、これからの活動に生かせることをたくさん収穫できた交流会となりました。学校という枠組みから飛び出し、こうした活動に自分から進んで取り組む力が自分の生き方の糧となり、これからの社会を担う力となることでしょう。

村山教育事務所では、MY (Murayama Young) ボランティアの推進を図るために、これからもボランティアサークルの支援、交流を実施していきます。また、ボランティアに興味のある中高生、学生のみなさんが活動できる場が見つけられるように、各地域でのボランティアサークル活動を周知していきます。